



白川小だより

学校の教育目標

ひとりだち

すすんで (自立)
なかよく (共生)
みんなのために (貢献)

平成29年1月31日 (火)

きびしい自然に負けず たくましく生きます

白川郷学園白川小学校 校長 下出 尚弘

白川村民憲章

わたくしたちは、霊峰白山のふもと、美しくきびしい自然と、香り高い文化に恵まれた白川村民です。

- 美しい風土を誇り 自然を守ります
- 純朴な心を失わず 感謝の生活をします
- 豊かな文化をたつとび 伝統をいかします
- きびしい自然に負けず たくましく生きます
- たがいに力をあわせ 住みよい村をつくりまします



1/25(水)元気に遊ぶ子どもたち

一昨年の4月、白川小学校の児童に初めて出会った日、入学式に先立って「白川村民憲章」を声高らかに唱和する児童たちに衝撃を受け、感動したことを今でも忘れません。各市町村に市町村民憲章はありますが、入学したての新1年生から村民憲章を暗記して唱和できる場所は、日本全国探してもないのではないのでしょうか。

今年は年が明けてからの降雪・積雪となり、昨日の夜も激しい風雪に見舞われました。そんな厳しい冬の寒さにも負けず、子どもたちは、自分の意志で一步步歩み登校して来ます。多少の風や雪には動ぜず、力強く前を向いて下校して行きます。写真にもあるように、グラウンドに積もった雪の中で思いっきり遊んでいます。先日のスキー教室では、初めてスキーをした子もいましたが、恐れることなく自分から果敢に挑戦し、リフトにも乗って滑ることができました。まさに、「きびしい自然に負けず たくましく生きる」村民憲章で目指す人間像に向かう姿を、毎日の生活の中に見ることができます。

そんな子どもたちを見ながら、今、強く思っていることがあります。白川村の子どもたちは、たくましいです。頼もしいです。風雪は、子どもたちを鍛え、着実に生きる力を身に付けさせています。小さい頃から積み重ねた雪国での生活体験は、激動する現代社会においても、自分が身を置く環境を、知恵を出して最大限に活かして楽しみにさえ変えてしまう、前向きに豊かにたくましく生きる力を磨いていると私は思います。

義務教育学校となる来年度は、特色ある活動の柱の一つである「ふるさと学習」を、村民憲章と結びつけて実施します。白川村の人々が培ってきた生き方、知恵、思いにふれながら、「ふるさとへの熱い思いを胸に、白川村に貢献できるひと」「今、自分にできることを自ら考え、貢献できる子」の育成に取り組みます。1年生から9年生が、活動を通じて村民憲章で目指す人間像をより具体的に学び、「貢献」をキーワードに取り組みます。今後さらに、より強い願いや思いをもって村民憲章を唱和する白川郷学園の子どもたちに成長することを期待しているところです。

保護者・村民の皆様には本年もお世話になります。どうぞ、よろしく願いいたします。